

講 演 大 会 記 事

第 72 回 講 演 大 会

第72回講演大会は10月16日(日)より18日(火)までの3日間、鉄鋼短期大学において開催され、ついで10月19日(水)見学会が行なわれた。会期中は非常な好天気恵まれ、武庫川沿に走る西国街道の松並木、田畑が見える会場では、特別講演会、討論会の行事が研究発表プログラムの中に織込まれ、盛会のうちに滞りなく終了した。

講演大会

1. 開会式 開会式は武田喜三副会長司会のもと10月16日(水)9時30分から大講堂において行なわれた。初めに沢村宏大会名誉実行委員長、外島健吉大会実行委員長(関西支部長)の歓迎の挨拶があつた。ついで佐野幸吉会長から次のような挨拶があつた。「第72回講演大会が沢村大会名誉実行委員長、外島実行委員長はじめ関係各位のご尽力で7年振りに関西地区で開催される運びとなつた。とくに会場となつた鉄鋼短期大学は鉄鋼業の近代化に即応する技術者の育成を目的として、昭和37年4月開設されたばかりであり、このような素晴らしい会場をご提供いただいたことは喜びにたえない。また先頃帰国した本会主催の訪独・ベネルックス使節団がヨーロッパ各地で盛大な歓迎を受けたのも、日本の鉄鋼技術の力を示すものであり、今後も各国の技術進歩に負けぬよう技術研究に力をそそがねばならない。」



開会式における佐野会長挨拶

2. 講演大会

秋期講演大会は製鉄(第1, 第2会場)、製鋼(第3, 第4会場)加工・性質・分析(第5, 第6, 第7)の7会場に分れ講演発表が行なわれた。今回の講演発表は284件におよび第1種講演(講演15分・質疑5分)、第2種講演(講演10分・質疑5分)の2種類の方法で講演が行なわれ、座長諸氏の適格な司会のもとに各会場とも活況を呈した。

また下記のテーマについて討論会が開かれ、各会場で

活発な討論がくりひろげられた。

- | | | |
|------------------------|----|-------|
| 1) 高炉における高圧操業 | 座長 | 雀部高雄君 |
| 2) 鋼の脱酸と非金属介在物 | 座長 | 荒木透君 |
| 3) 熱間振り試験による鋼の加工性の評価 | 座長 | 作井誠太君 |
| 4) X線マイクロアナライザーの鉄鋼への応用 | 座長 | 篠田単治君 |
| 5) 鋁鋼の格子欠陥 | 座長 | 橋口隆吉君 |

特別講演会



特別講演会場

10月16日(日)9時40分より開会式に引き続き大講堂において武田副会長より講師の経歴ならびに業績の紹介が行なわれ講演がなされた。

今回はいま話題となつている本州と四国を結ぶ「長大橋」について、その概要、使用する鋼材の性質、溶接など建造上の問題を中心に、将来の橋梁用大型鋼材の需要見通しならびに使用者として大型鋼材に対する意見などを折り込み講演が行なわれた。会場は500名を越える聴講者で非常な盛況であつた。

講演

長大橋について 東京大学教授 工博 奥村敏恵君
(講演内容は鉄と鋼誌(号数未定)に掲載いたします)

婦人見学会

大会に参加した会員夫人のために10月17日(月)京都観光が行なわれた。京都都ホテルに集合した一行14名は(株)神戸製鋼所の庶務の方の案内でまず南禅寺へ参つた。南禅寺の山門から朝霧の中に美しい京都の街並みを楽しんだ後、京都の街をはなれた一行は紅葉しはじめた秋の山を車窓に眺めつつ、比叡山に登り、食事をとつた。ドライブウェイの途中から現われはじめた霧が、叡山閣に到着する頃にはすっかり立ちこめ、耳に聞こえるのは谷をわたる風の音ばかりという静寂さの中で一行はしばし都会の喧噪を忘れた。食事後ドライブウェイを琵琶湖へ下り、黄金色に実つた琵琶湖を囲む水田に秋の季節感を深くしつつ、一昨年完成した琵琶湖大橋を渡つた。橋

というと高くそびえる支柱と吊りロープを見なれた一行の目に、大橋の橋脚だけで吊りロープを使わない優雅な姿はことさらに美しく映り、一同現代土木技術の進歩に敬意を表した。湖畔沿いて浮御堂へ廻った後、琵琶湖ホテルで名残りを惜しみつつ散会した。

懇親会



懇親会風景

大会第1日目の10月16日(日), 18時より日本金属学会と合同で鉄鋼短期大学機械科製図室で行なわれた。今回は、懇親会場を他の場所へ移さず、同学内で行ない、若い会員も気楽に参加出来るように計画されたため出席者300人を越す盛況であった。

懇親会は鉄鋼短期大学谷口光平教授司会のもと外島実行委員長の挨拶で始まり、佐野、小林両会会長、沢村大会名誉実行委員長の順に挨拶があり、本会前会長であり

長老浅田長平氏の音頭で一同杯を挙げ再会の隆昌を祝した後宴に移った。今までにない参加者数で宴は盛り上がり、杯を交し互に親交を深め和気あいの裡に午後16時30分散会した。

見学会

第72回講演大会の最後行事である見学会は、好天気のため10月19日(水)行なわれた。

見学会は金属学会と合同で躍進を続ける阪神工業地帯を中心に9班に別れて行なわれ、参加者500名に達した。各見学班は下記の通りである。

- 第1班 三菱重工業(株)京都製作所
(株)島津製作所 三条工場
- 第2班 住友金属工業(株)製鋼所
日立造船(株)桜島造船所
- 第3班 (株)中山製鋼所本社工場
住友金属工業(株)鋼管製造所
神鋼鋼線鋼索(株)本社工場
- 第4班 住友電気工業(株)伊丹製作所
ダイハツ工業(株)伊丹事業部
- 第5班 日本伸銅(株)堺工場
八幡製鉄(株)堺製鉄所
- 第6班 (株)神戸製鋼所神戸工場
川崎重工業(株)
- 第7班 川崎製鉄(株)計量器工場、葺台工場
三菱重工業(株)神戸造船所
- 第8班 富士製鉄(株)広畑製鉄所
- 第9班 住友金属工業(株)和歌山製鉄所

正 誤 表。

「鉄と鋼」第52年(1966)第13号(12月号) p. 1879 に掲載の第34 図中、写真の部分が逆になっておりましたので下図の通り訂正いたします。

